

## 閉会の辞

本日、新型コロナウイルスの影響により三年振りとなりましたが、この地において、慰霊祭を執り行うことができました。御多忙な中、遠方より多数の皆様の御参列を賜り、心から御礼申し上げます。

先の大戦では、ここフィリピンで日本人五十万人、フィリピン人百万人を超える数多くの方々が尊い命を落とされました。このカリラヤの静寂な森にたたずむ「比島戦没者の碑」の前に立ちますと、当時、祖国に残された家族の安寧、祖国日本の行く末を思いながら、熾烈な戦いに傷つき、飢えや病に苦しんだ方々、再び祖国の地を踏むことができなかつた同胞の方々の無念さはいかばかりであったかと改めて想わずにはいられません。全ての戦没者の方々の御霊に対し、謹んで追悼の意を表します。

戦後、祖国日本は立派に立ち直り、世界の中で平和を重んじる国として、名誉ある地位を築きました。戦争の惨禍を二度と繰り返さないとの決然たる誓いを貫き、万人が心豊かに暮らせる世界の実現を目指して参りました。私達はそのため日々努力を重ねていくことを、戦没者の方々に改めてお誓い申し上げます。終戦から七十七年の歳月が流れた今日、日本とフィリピンは、政治、安全保障、経済分野での協力関係や、人的交流を拡大させ、両国の信頼関係、友好関係はかつてないほど深まっております。また、最近フィリピン国内で実施された世論調査においては、日本を信頼できる国であると回答したフィリピン国民が約八十パーセントに上りました。このような両国関係を築けたことを戦没者の御霊に御報告できることは、戦後を託された我々日本人として誇りに思います。

最後に、尊い命を捧げられ、祖国の礎となられた幾多の方々の御冥福を改めてお祈りするとともに、御遺族の皆様、参列者の皆様、在留邦人の皆様の平安、並びに日比両国間の一層の友好親善を祈念し、慰霊祭の閉会の辞といたします。

令和四年八月十五日

駐フィリピン日本国大使 越川 和彦